

自らの地域は 自ら守る

〈特集〉
地域の守護神

OKAYA VOLUNTEER FIRE FIGHTER

消防団



コンビツール
用途はP6にて解説!

DATA of 岡谷市消防団

- 組織 | 分団数:本部および11個分団
 - 団員数 | 417名(男性388名・女性29名)
 - 平均年齢 | 44.2歳
- (R6.4.1現在)

普段は、それぞれに仕事を持っている消防団員。仕事にもプライベートにも真剣に向き合っていますが、いざ災害が発生すると気持ちを切替え、活動服と防火服を身にまとい、仲間とともにすぐに災害現場に向かいます。地域をよく知っているからこそ、「この家には3人住んでいる」「この道がダメならこっちの道だ!」「〇〇さん、心配しないで大丈夫だからね」など、きめ細かな災害対応で、市民の生命と財産を守ります。

「消防団」は、火災発生時や地震・豪雨などの災害時に、いち早く市民の元に駆けつけて助けてくれる大切な存在です。
今月号では、「地域の守護神 消防団」の姿に迫ります。

消防団とは?

消防団は、消防本部や消防署と同様、消防組織法に基づき、それぞれの市町村に設置される消防機関です。

消防防災のリーダーとして地域に密着し、住民の安心と安全を守ります。常勤の消防職員とは異なり、火災や大規模災害発生時に自宅や職場から現場へ駆けつけ、地域での経験を生かした消火活動・救助活動を行う非常勤特別職の地方公務員です。

近年は女性の消防団員も増え、音楽隊や高齢者宅への防火訪問など、さまざまな場面で活躍しています。

消防団の役割



各種災害対応

大規模災害発生時の救助・救出・警戒巡視・避難誘導・災害防御を行います。地形・住民・水利など、地元を知っているからこそその強みを活かし対応にあたります。



火災予防広報

高齢者のお宅へ行き、ようすを確認したり、火災予防運動や歳末特別警戒での巡回広報活動を行っています。消防音楽隊では、「火の用心コンサート」などを通じ、防災意識の向上に努めています。



訓練

各種災害対応に必要な知識と技術の習得をめざし、訓練を行っています。その他に、消防署と合同での研修会や、活動に必要な資格の取得も行っています。

教えて！消防団！Q&A — 消防団への疑問にお答えします！

Q1：消防署と消防団はどう違うの？

A1：消防署は、常勤の職員が常時消防業務に専念しているのに対し、消防団は、日頃各々の職業に専念し、災害などの際には消防団員としてその対応に当たります。また、平時においても、災害に備えての訓練や予防広報、資機材の点検などにも従事します。岡谷市の場合、消防署は諏訪広域連合に属し、消防団は岡谷市直轄の組織となります。

Q2：だれでも入団できますか？

A2：原則として18歳以上で、市内在住・在勤の人ならば、どなたでも入団できます。

Q3：報酬・手当てはありますか？

A3：一般の団員の場合、年額で36,500円、災害出動1回4,000円～8,000円、その他の出動1回1,000円。そのほかに5年以上勤務すると退職報償金があります。また、消防活動中のけがなどには、療養補償、休業補償などの補償があります。

Q4：任期、定年ありますか？

A4：消防団の階級は、団長、副団長、分団長、副分団長、部長、班長、団員となっており、班長以上の任期は1期2年で再任は妨げないとされています。定年についてはとくに定めはありません。

岡谷市消防団 年間主要行事 /

1年を通してこんな活動をしています！

出初式



日本の消防が1月初旬に行う仕事始めの式です。

1月

規律訓練



部隊行動を確実にし、消防に必要な基礎を身に付けます。

4月

操法大会



消火活動に必要な消防操法技術の向上と、士気高揚を図ります。

6月

7月

各種警備



各種祭事等において雑踏警備を行い、事故防止、負傷者の救護を行います。

8月

秋季訓練



全分団合同での訓練を行い、消火技術の向上や連携強化を図ります。

10月

通年

防火デー(火災予防広報・各種訓練)



水利点検、火災予防広報、各種訓練を毎月実施しています。

わたしたちも活躍しています！

諏訪地域のなかでも
女性団員が多い岡谷市消防団。

自ら「**消防大好き女子**」と語る女性団員3人に
「女性消防団員のホンネ」を聞きました。



第6分団（団歴8年）
上條 琴音さん（28歳/看護師）

お休みの日の琴音さんは…
趣味：ゴルフ、太鼓



●入団のきっかけは何ですか？

琴音：父親が分団長なんですけど、小さい頃から消防団で活躍している姿を見ていて「消防」への興味と憧れがあつて、自分も消防団で活躍したい、という思いから入団しました。

明日美：わたしも、やっぱり母が消防団に入っていて、女性でも操法大会に出たり、火事の際にも出動している姿を見ていて、わたしもやりたいと思つて、高校を卒業してすぐに入りました。

瑞姫：御柱でラッパを吹きたかつたことと、地元が好き過ぎて、地元のために何かできないかと思ひ、自分から希望して入りました。

●ラッパ隊には入りましたか？

瑞姫：はい、コロナで前回の御柱

には出られなかつたんですが、所属しています。ここに居る3人も入っていますよ。

琴音：小宮の御柱では吹きました。あと、御柱のほか、出初式にもラッパ隊は出ますね。

●出動や訓練のときのご家族の反応や理解はどうですか？

琴音：夫は理解してくれていて、出動のときは、全てが安全な場所というわけではないですが、「気をつけていつてらっしゃい」と送り出してくれるので、活動はしやすいです。

瑞姫：両親には、朝が早かつたり大変だよと、初めは入団を反対されていたんですが、どうしてもやりたくて説得して入団しました。8年間続けてきたなかで、今は応援してくれていて、出初式も見に来てくれて、ありがたいです。

●普段はどのようなお仕事をしていますか？また職場の協力はありますか？

琴音：看護師をしています。仕事柄、勤務中は出動できませんが、職場の人たちは団に入っていることは理解してくれていると思います。

明日美：転職したばかりですが、建設業で、溶接などの修行中です。先輩が消防団員なので、出動のときは一緒に行動できます。

瑞姫：介護士をしています。やはり勤務中は出動できませんが、職場の人には消防団のことは理解してもらっています。

●消防団ではどんな仕事をしていますか？女性ならではの仕事はありますか？

琴音：6分団は、消火活動では女性でも分け隔てなく、筒先を持しますし、希望すれば機関としてポンプ圧の調整などの重要な役割も任せられます。また、「月一防火

お休みの日の瑞姫さんは…
趣味：旅行、キャンプ



デー」で地域の中を回る警戒や、火を使う地区の行事の見回りをします。水害のときは、現地に土嚢を積みに行きました。やりたいけれど難しいことがあれば、できるようになるまで、ほかの団員がきちんとサポートをしてくれます。

明日美：同じなんですけど、そのほか、基本的には訓練を主にやっています。なかなか現場で活動できない人のために、実際に水を使った放水訓練をやるんですが、そこに女性も参加します。



第8分団（団歴8年）
小林 瑞姫さん（33歳/介護士）

女性消防団員の



第8分団 (団歴7年)
両角 明日美さん
(25歳/会社員)

お休みの日の明日美さんは…
趣味: ライブ、ドライブ



●消防団に入ってよかったことを教えてください

琴音: やりたいと思うことができると、それをしっかりサポートしてくれることです。このほかには、人脈が広がることですね。6分団の御柱を立て御柱をやったときは、柱にやらせてもらいました。消防団に入っていないとできない経験をたくさん積めます。

明日美: 入る前は、災害に対して何の知識もなかったんですが、入団することで、水害や火事のことなど知ることができました。実際に火事や災害が起こったときに、地域の人を少しでも助けられる知識を身に付けられたことがよかったですと思います。それと、地域のなかに知り合いがたくさんいます。女性チームで操法大会に出たときは、分団をまたいだチームを

組んで、みなさんに応援してもらえたこともよかったです。

瑞姫: 地域のつながりが増えたことと、ずっと地元に住んでいても知らなかった場所を、新たに発見できたことです。今年のお舟祭りでは、元綱係をやらせてもらいました。いろんな経験ができて面白いですし、なにより女性男性かわらず同じことができるということが、すごくいいと思います。

●飲み会が多いというイメージもありますか?

琴音: 大きい飲み会としては、新年会、忘年会や大会の打ち上げなどがありますが、飲み会にたびたび呼び出されるといようなことはないです。

明日美: 自分の分団だけのこともあるし、交流会でいくつかの分団で集まることもあります。



新人団員もがんばっています!

地域の助けになれることが
やりがいです!

災害時に地域のみなさんの助けになれることに、やりがいを感じています。火事の現場には2回出勤し、筒先を持って消火活動にあたりました。会社の先輩に誘われて入団したので、職場での人間関係も良好です。

“若手消防団員”に
消防団に「入ってよかったコト」
を聞きました!

地域のいろんな人と知り合える

父が消防団を引退したので、後ろ姿に憧れて入団しました。入団したことでコミュニティの輪が広がり、違う年代の人とも知り合うことができました。市役所に勤務し地域連絡員をしているため、仕事にも生かしています。

●市民のみなさんへ向けて、「最後にひとこと」をお願いします

琴音: 地域・住民の安全を支え、守ることができることは誇れることだと思っています。興味がある人は声をかけてみてください。

明日美: マイナスなイメージもあるけれど実際はそうではないし、消防・防災の知識が得られる場所です。一緒にやってみませんか? 瑞姫: これから先も地元に住もうと思う人には、ぜひ入団してほしいと思います。



第10分団 (団歴1年)
遠藤 敦也さん (24歳/会社員)



第6分団 (団歴2年)
増澤 龍馬さん (22歳/公務員)

地域とのつながり 川岸消防団まつり

消防団の良さは、なんと言っても「地域とのつながり」です。
川岸地区では、9月8日(日)、地域との交流を深めるために、第8・9分団が合同で「川岸消防団まつり」を開催し、延べ500人を超える来場がありました。消防団活動体験などで地域の人と交流を深め、防災ブースでは、活動のパネル展示、防災マップの展示、防災グッズ販売などをし、防災意識が高まる1日となりました。



消防車両乗車体験



救命体験



救助犬搜索デモ



消火器体験



缶バッジ



けむり体験



ロープ体験



消防音楽隊
特別コンサート



防災ブース

暑いなか、多数の方にご参加いただきありがとうございました。体験型イベントを通じてお子さんも大人も防災意識を高めていただけたかと思います。引き続き防災活動と消防団の活動周知に努めて参ります。



実行委員長
宮澤 利明 第9分団長

「消防団まつり」には多数の方にお出かけいただき、誠にありがとうございました。楽しんでいただけましたでしょうか? 第8分団では、これからも消防団活動に精力的に取り組んでいきます。よろしくお願いします!



副実行委員長
林 浩平 第8分団長



災害時、こんな機材で救助します! — 消防団の救助資機材を紹介します

岡谷市消防団では、災害時の救助用の資機材を各分団で所有し、救助活動に役立てています。

多様な救助資機材

消防自動車のシャッター内部に数々の救助資機材を収納しています。



チェーンソー

チェーン状の歯で、樹木や木材を切断する。



コンビツール

物体を切断・拡張し、閉じ込められている要救助者を救出する。



可搬式ウインチ

重量物のけん引など、縦・横・斜め、どんな角度でも操作が可能。



エンジンカッター

研削ブレードを高速回転させ、木材、金属、コンクリートなどを切断する。



投光器

持ち運び可能な自立式・充電式の高輝度投光器。

Interview

消防団長に聞く！ 「これからの消防団」

岡谷市全11分団の長として団員をまとめる、消防団長 上沼隆弘さんに、お話を聞きました。

● 難しい時期だったコロナ禍が明け、消防団の活動に変化はありましたか？

コロナ禍に団長に就任し、丸2年間はコロナにかぶってしまい、操法大会など何もできない状態でした。5類に移行してから徐々に戻り、今はほとんど通常の活動に戻って、年間の主な行事を行える状態になっています。だんだん団員たちも忙しくなっていますが、訓練や操法大会の練習も一生懸命やっています。

● かつてとは違つかたちの災害も増えていきます。そういう意味でこれからの消防団の役割はどう変わっていきますか？

昔は、消防団といえば火災での出動が主でしたが、今は行方不明者の捜索、近年では、豪雨災害による出動が増えています。雨の場合、分団員は地元だからこそのわかる地域の異変を独自に察知し、何かあった場合は行動に早く移せるよう自発的に屯所に集まり、危険に備えるということをしています。危険が伴うため、分団長や現場の最高責任者には、第一に「安全の確保」を徹底してお願いしています。

● 今後の消防団と地域とのつながりは？

各分団とも、地域とのつながりはかなり強いですね。最近では、川岸小学校を会場にして「消防団まつり」というイベントを数年ぶりに行ったわけですが、川岸小学校の校長先生をはじめ、地域の方に非常に協力いただきました。地域でがんばっているからこそ、できたお祭りだったと感じています。今後、どんなかたちになるかは、わかりませんが、さらに発展していくと思います。

● 消防団で活動することの良さは？

消防団では、職場とは全く違う社会に身を置くことになります。仲間意識が強い団体なので、一度飛び込んでしまえば、絆が生まれて一生続く関係が生まれるという、他では得難い経験ができるということでしょうか。

● 市民へのメッセージをお願いします

消防団は一生懸命、市民のみなさんのために活動している団体であるということをご理解をいただきたいと思っています。また、訓練や対話をすることで、どんな人にも、なにかしら活躍できる場があります。ぜひ入団して消防団の活動を体験してほしいと思います。



岡谷市消防団
上沼 隆弘 団長

消防団の仲間になりませんか？

わたしたちといっしょに
消防団で活躍して
みませんか？

消防団について、わかっていただけでしょうか。
消防団では、あなたの入団を待っています！

🎯 入団資格

市内在住または在勤の
18歳以上の人

🎯 入団の問合せ

消防課
(諏訪広域消防本部 岡谷消防署内)

☎ **22-4119**

E-mail shobo@city.okaya.lg.jp

■ 問合せ：消防課 TEL:22-4119

お父さん！
カッコいい!!



こんなポロシャツで
活動しています！

